

地域の安全は自分たちで守る!

「自主防災組織」の活動紹介

簡易担架を使った救助訓練の様子 (平成29年7月 中須賀町内会自主防災・防災会)



自主防災組織とは、身の安全や財産などを災害から守り（自助）、住民同士が互いに助け合う（共助）など、住民自身が自主的に結団して行動する組織のことです。秋の台風シーズンを前に、自主防災組織の活動と防災対策について紹介します。今回紹介する事例を参考に、皆さんの地域でも積極的に防災活動に取り組んでいきましょう。
閩危機管理室（市役所3階） ☎32-2042

事例② 地域独自の課題をもとに「防災マップ」を作成

光陽台町内会防災防犯会

地域の危険箇所を把握し、避難場所などを分かりやすく地図に書き起こしておくことが重要と考え、光陽台町内会独自の防災マップを作成しました。このマップには、災害発生時に避難所となる集会所のほか、消火栓や防火水槽なども記載し、各家庭で見やすい場所にこのマップを貼って、地域全体で防災意識を高めています。



山口 明さん(西吉田) 光陽台町内会防災防犯会 会長

光陽台町内会・防災マップ

防災マップ作成のポイント②

- 道路や河川、水路など、まちの特徴や様子を書き込む
消火栓や防火水槽など、防災に役立つものの場所を書き込む

防災マップ作成のポイント①

- まちを歩き、危険だと感じる場所などを記録する
記録したことや気付いたことなどをマップに書き込む



災害情報を取得するには...

災害から身を守るため、いち早く情報を入手できる方法を紹介します。

津山市災害情報等メール配信サービス

登録方法 「t-tsuyama@sg-m.jp」に空メールを送信して登録する、または、次のURLかQRコードにアクセスして登録する（事前に登録が必要。通信料は利用者負担）
パソコンから「https://service.sugumail.com/tsuyama/member」
携帯電話・スマートフォンから「https://service.sugumail.com/tsuyama/」



QRコード

緊急告知防災ラジオ、防災行政無線（旧加茂・阿波・勝北・久米）

緊急告知防災ラジオや防災行政無線を利用して、いち早く災害情報を取得しましょう。旧津山市内にお住まいの世帯には緊急告知防災ラジオの購入補助制度があります。

補助金額 購入に要した費用の3分の2以内（上限6千円）

緊急告知防災ラジオ

避難場所や経路などをあらかじめ確認しておく、台風や夕立など、急激な大雨によって土砂崩れや家屋への浸水の危険が迫ってきた時、安心して円滑に避難行動を取ることができます。災害による被害を最小限に食い止めるためには、前もって準備しておくことが欠かせません。自分自身でできること、周りの人と協力してできること、これらを日ごろからしっかりと話し合い、災害に備えた準備を進めましょう。

事例① 農業用水の氾濫を想定し「土のう作り訓練」

玉琳町内会自主防災隊

平成28年10月に実施した自主防災訓練では、農業用水が氾濫したことを想定し、実践的な訓練を行いました。実際に浸水が発生しそうな場所への設置方法の確認も併せて行い、充実した訓練を積み重ねることができました。
また、土のう作りには必要な真砂土や袋のほか、救急医薬品などを公会堂に常備し、住民自身で対応できるように地域全体で取り組んでいます。



青木敏明さん(川崎) 玉琳町内会自主防災隊 隊長

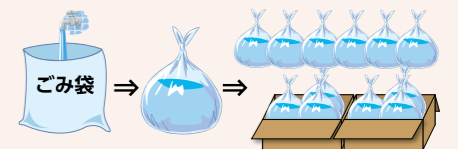


土のう作り訓練の様子

突然の大雨などで土のうを準備できないときは...

ごみ袋などで「簡易水のう」を作る

ごみ袋などに水道水を入れ、しっかりと縛ります。玄関や勝手口の外側など、浸水の恐れがある場所に隙間なく詰めて浸水を防ぎましょう。水のうを段ボールなどの箱に入ると強度が増します。



プランターとブルーシートによる止水

土の入ったプランターをブルーシートで巻き込むことで、簡易的な止水材を作ることができます。簡易水のうと同じく浸水の恐れがある場所に置き、浸水に備えましょう。

